

報會曲千

日七十月七年六十和昭

號 七 第

會曲千人法圖社

目次

- △遠藤教授退官……………(一)
- △本會記事……………(二)
- △會員勳靜……………(三)
- △紙任辭令……………(四)
- △計報……………(五)

謹告

本誌先月號に於て豫告して置きました様に本誌は徹底的に縮版致しました。

母校便りを少しでも載せたいと思つたし、死亡會員の追悼文も二、三投稿されてあつて是非載せたいと思ひましたが何しろ經費不足で致し方ありませんでした。何卒不悪御諒承願ひます。

編輯室

遠藤保太郎先生退官記念品贈呈資金募集

謹啓

時下初夏之候愈々御清適之段奉賀上候

陳者、這般、遠藤保太郎先生が突然御家庭の御都合上御退官の上、急遽御歸郷被遊候ことは已に會報紙上に於て御承知の事奉存候

遠藤先生の本邦蠶絲業界に寄與せられたる偉大なる業績、且いて母校に對する赫々たる御勳功は、今更暇々を要せざる所ニ存候

實に母校御在職二十有五年の長きに亘り、校に在りては一意専心子弟の教養に、校務の執掌に日も亦足らず、出でては著作に、研究發表に、又業界指導に専念され、斯業界に貢獻せられたる事は内外共に景仰する所にして

常に吾々會員一層感謝措く能はざる所に御座候

今回御家庭の御都合は申しながら、御歸郷の止むなきに至り候ことは實に母校のため遺憾たるのみならず、本邦斯業の爲にも非常なる損失と存じ

極力、御留任を懇請致候も遂に容るゝ所ならず、此所に御缺別致すことに相成候、洵に惜別の情に不堪次第に御座候

就ては、此の際先生の御功績を讃え、且多年の勞に酬いん爲め、資金を募集し、記念品を贈呈致し度候間左記御諒承相成御贊同の上御醜金被成下度

此段御依頼旁々得貴意候

敬具

記

一、醜出金額 御隨意

一、申込期限 本年十一月末日

一、送金先 母校内千曲會

(振替長野六貳四參番)遠藤先生記念品贈呈資金
ご明記のこと

一、受領證 千曲會報紙上

一、記念品 發起人に御一任願度

昭和十六年七月 日

發起人代表

蒲生俊興

味澤 泰造(絲五)	大塚 重藏(絲八)
荒井 猛(絲三)	稻田 實(絲三)
利田 普(絲三)	金野 巖保(絲三)
手塚 政吾(絲三)	彼末 武猪(絲三)
南林 孝三(絲三)	兒玉 來(絲三)
相澤 仲司(絲三)	土岐 茂次(絲四)
櫻井 禮(絲三)	笠原金治郎(絲六)
宮野 保夫(絲七)	瀧澤啓四郎(絲七)
小宮 勝三(絲七)	山崎 半録(絲九)
宮原 秀人(絲九)	林 清市(絲九)
小口 伊前(絲九)	角田 勝朗(絲九)
川村 五郎(絲九)	太田 三郎(絲三)
山本金之助(絲三)	吉田 爲雄(絲三)
長谷川恒藏(絲三)	有賀 茂(絲三)
野本 信次(絲三)	宮坂 榮(絲三)
中村壽恵男(絲三)	東島藤次郎(絲三)
江端 爲夫(絲三)	三澤 讓(絲三)
平澤和司男(絲三)	田中 和人(絲三)
磯部 鐵雄(絲三)	狩野 宏平(絲三)
若林 茂美(絲三)	竹内 五郎(絲三)
田代 毅(絲三)	山口 亮祐(絲三)
湯本益次郎(絲三)	御子榮希太郎(絲三)
海野 輝男(絲三)	川瀬 泰宏(絲三)
田野實雄(絲三)	菅野 正文(絲三)
島山 重夫(絲三)	廣瀬 廣一(絲三)
宮本 靜雄(絲三)	山内 龍一(絲三)
江野村一雄(絲三)	市原 安臣(絲三)
椎屋 藤良(絲三)	小林忠十郎(絲三)
藤井富美男(絲三)	大森 勇(絲三)
佐久間幸一(絲三)	星田 馨(絲三)
近藤 義信(絲三)	淺沼袈裟男(絲三)
鈴木 一郎(絲三)	乾 正(絲三)
佐藤 一郎(絲三)	成田 勇(絲三)
木下 重政(絲三)	門田 勇(絲三)
香掛 祥平(絲三)	岩崎 正典(絲三)
土屋 勉(絲三)	柳澤 六平(絲三)
佐藤 佳良(絲三)	淺山 茂樹(絲三)
諸岡 市郎(絲三)	柴田 利男(絲三)
柳澤 柳二(絲三)	神林 至(絲三)
小林 憲三(絲三)	尾崎 充美(絲三)
内藤 忠勇(絲三)	

昭和十七年度會費納入者

金貳圓也 矢野 榮輝(絲七)

湊會費金壹圓六拾錢也

(昭和十六、十七年度分)中塚ミツ子(教四)

終身會費完納者

矢野 榮輝(絲七)

未納會費納入者

金四圓也(昭和八年度分)本間 直人(蠶一)

金參拾圓也

(大正十三、十四後期、昭和二前期、四前期、五前期、六、八年度分)

西山 市三(蠶九)

金參拾八圓也

(昭和七後期、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六年度分)

矢野 榮輝(絲七)

入會金納入者

完納者

狩野 宏平(絲三) 神林 至(絲三)

金拾圓也 鈴木 道夫(蠶元)

金六圓也 東島藤次郎(絲三)

金五圓也 齋藤 軍二(蠶元)

金參圓也 三澤 讓(絲三)

叙任辭令

現職員之部

彼從七位(五月一日) 小松 忠一郎

正四位勳三等 井上 柳 梧

彼從三位(六月二日)

卒業生之部

地方農林技師 福島 鋼治郎

八級俸下賜(四月三日)

公立實業學校教諭 齋藤 會

七級俸當分千五百八拾四圓下賜(五月十六日)

地方農林技師 鶴田 定平

滿洲國(出張ヲ命ス)六月二十三日

公立實業學校教諭 齋藤 會

年功加俸年額金貳百四圓下賜(五月十日)

神原 春彦(絲八)	鐘紡宇和島工場(愛媛縣宇和島市伊吹町)
湯澤 重敏(絲九)	鐘紡甲府工場(甲府市高畑町)
川船 卓爾(絲一〇)	(住)埼玉縣本庄町本町四丁目六五番地
栗栖 忠士(絲一一)	(勸)從前通り(住)北海道雨龍郡沼田村淺野炭山社宅
山本奈良三郎(絲一二)	昭和紡績株式會社工業長(和歌山市岡町)(住)從前通り
荻原 清治(絲一三)	(住)京都市左京區北白川平井町、明昭アパート内
則信 忠夫(絲一四)	片倉愛媛工場(愛媛縣越智郡富田村)電話(今治)三八〇
細田 親二(絲一五)	(勸)從前通り(住)名古屋市東區丹付町二ノ四七
庭野明之助(絲一六)	群馬社沼田工場(群馬縣利根郡沼田町)
櫻井 汎(絲一七)	片倉大分製絲所(大分市大道町)
金子新一郎(絲一七)	(住)新潟縣北魚沼郡小出町
柳澤 榮一(絲一七)	(住)豐橋市西高師町津森
福島 喜藏(絲一八)	丸久粗製絲所(群馬縣澁川町上之町、電話一三二)(住)澁川町上之町二一九八
成尾喜八郎(絲一八)	(勸)從前通り(住)松山市小栗町
松村 恵一(絲二〇)	那是製絲株式會社埼玉工場(埼玉縣飯能町)
川村 五郎(絲二〇)	鐘紡笹木野工場(福島縣信夫郡野田村)
清水 英一(絲二二)	(住)山口市後河原一五、小澤方
江端 爲夫(絲二三)	富士瓦斯紡績、保土ヶ谷工場(橫濱市保土ヶ谷區川邊町二)(住)橫濱市神奈川區淺間町五ノ四〇八青柳虎三郎方
小香 貞三(絲二三)	(勸)從前通り(住)岐阜市西野町九丁目
小口 宗久(絲二五)	召集解除(住)新潟縣高田市南本町二丁目
中村 達(絲二五)	(勸)從前通り(住)津山市二宮池上優一方
野村 剛(絲二五)	昭和十六年六月二十日病死
小林 亮(絲二七)	廣海軍工廠(住)廣島縣吳市廣驛前通村田喜一方
山口 亮祐(絲二七)	昭榮製絲二日市工場(福岡縣筑紫郡二日市町)
淺沼袈裟男(絲二七)	帝國人絹大垣工場(岐阜縣大垣市本今町一七〇〇)
岩本 一郎(絲二六)	東洋紡績大曾根工場(名古屋市東區上飯田町宮前)
飯島 六(絲二二)	兵庫縣薩檢定所柏原支所(水川郡柏原町)
堀田 光子(絲二二)	(舊姓、玉井)(住)長野縣北佐久郡三井村香坂
若林のち子(絲二三)	長野縣薩檢定所篠ノ井支所(更級郡篠ノ井町)
和田八千代(絲二三)	(勸)ナシ(住)長野縣小縣郡中鹽田村大字小島
山崎八千代(絲三三)	(舊姓、中條)(住)長野縣南安曇郡南穂高村大字重柳山崎今朝志方
柳澤たつ子(絲三三)	(勸)ナシ(住)長野縣小縣郡傍陽村四八五九
白井 むつ(絲三六)	長野縣薩檢定所小諸支所(北佐久郡小諸町)
山邊 律子(絲三八)	滿洲棉花株式會社研究室(奉天市朝日區揚武街一興亞會館内)
柳澤 安枝(絲三九)	片倉研究所(埼玉縣大宮市)
小林すぎ枝(絲三九)	近藤製絲所(愛知縣東春日井郡高藏寺町)
福澤とも(絲三九)	近藤製絲所(愛知縣東春日井郡高藏寺町)
五味 郁代(絲三九)	東京府薩檢定所(東京府立川町)

計報

足立光男氏逝去
 昨年卒業後鐘紡松本工場に勤務、本年一月入營され出征中の足立光男氏(蠶二七)は中支第一線に於て痼病、廣島陸軍病院に加療中の處、六月十一日戦病死さる。痛惜に堪えず謹んで弔意を表する次第である。

野口 晃氏逝去

前田節男氏逝去

郷里鳥取縣岩美郡倍野村に自管中の前田節男氏(蠶八選)が逝去された事を六月廿五日の新報にて知りたる由小野正男氏より本會に通知があつた。謹んで弔意を表す。

弔慰金募集

故中島俊秋氏 蠶廿五
 故渡邊雪雄氏 蠶廿四
 故野田光男氏 蠶廿七
 故前田晃氏 蠶廿八
 故中島氏 蠶廿五
 故野田氏 蠶廿七
 故前田氏 蠶廿八

右五氏に對し弔慰金を募集致します。
 故中島俊秋氏は七月末日、故足立中島氏は故渡邊氏は七月末日、故野田氏は故前田氏は九月末日迄に取纏め御遺族へ贈呈したいと思います。
 記入の上御拂込下さい。
 昭和十六年七月

千曲會

有志弔慰金贈呈に對する遺族よりの禮狀
 大阪市住吉區播磨町東一丁目九番 義兄 倉橋 信夫

弔慰金報告 (七月五日現在)
 故吉川誠彦氏弔慰金 金參圓也 久保田正樹 寺島 親雄
 金參圓也 右合計金六圓也
 累計金七拾圓也

昭和十六年六月十七日印刷
 昭和十六年六月十七日發行

七號

【非賣品】

- 故佐谷戸健次郎氏弔慰金 金五圓也 古川 正喜 古越 光明
 金參圓也 上原 清夫 高橋 善吾
 金貳圓也 森 干城 久保田 正樹
 會山 直高 長谷川 政雄
 小林 新一 稻石 佐一
 小島 五郎 稻石 佐一
- 右合計金參拾八圓也
 累計金參百參拾八圓五拾錢也
 故柏倉豐吉氏弔慰金 金五圓也 山形千曲會 高橋 沼一
 金參圓也 田口富太郎 西山 市三
 金貳圓也 栗栖 忠士 宮川 繁治
- 右合計金貳拾圓也
 累計金參拾五圓也
 故中島俊秋氏弔慰金 金貳圓也 瀧澤 七郎 久保田 不二夫
 金參圓也 矢野 進 武田 恒久
 町島 正直 玉田 城三郎
- 右合計金拾壹圓也
 累計金貳拾七圓也
 故渡邊雪雄氏弔慰金 金拾圓也 農林省蠶絲局農林千曲會
 金參圓也 玉田 城三郎
 右合計金拾參圓也
 累計金拾參圓也

昭和十六年六月十七日印刷 (非賣品)
 昭和十六年六月十七日發行

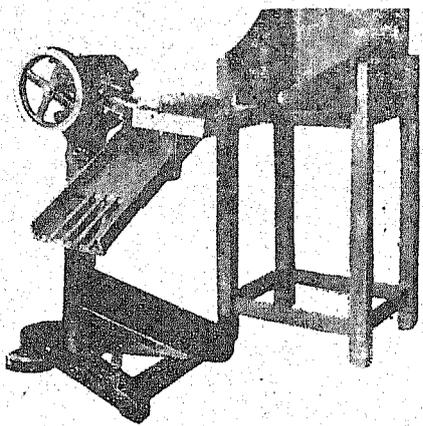
上田蠶絲專門學校内
 編輯 小松 忠一 郎
 發行人 上田市原町五七九五 二 郎
 印刷所 上田市原町五七九五 二 郎
 印刷所 中澤 印刷所

上田蠶絲專門學校内
 發行所 法人 千曲會
 電話 上田四六番、六六一番
 振替口座 長野四三三番、四三三番
 長野口座 長野四三三番、四三三番

發行所 上田蠶絲專門學校
 千曲會

電話 四三三番、四三三番

日本國・滿洲國特許
機開切繭生式OU



能率一日五萬粒

カ夕口夕 御申越次第 進呈

滿洲柞蠶株式會社
 各府縣繭檢定所 御用
 各府縣蠶種製造家

發賣元
岡部蠶絲研究所
 群馬縣前橋市向町九四
 電話二一七八番